

# 引退セレモニー

# 黒木

地元マリンスタージアムでの対ゴールデンイーグルス戦の試合後、昨年10月に引退を表明したマリンスター投手、黒木知宏氏の引退セレモニーが行われた。



「そうだ 京都、行こう。」 JR東海

マリンスター

1 黒木

先発投手黒木とアナウンスされマリンビジョンに映し出される

## 幕張スポーツ

ファン感涙の引退セレモニー

マリンビジョンに黒木氏の入団からのビデオが流されると、マリンスタージアムに詰めかけた3万の観客は見入った。初完封の初勝利、七夕の悪夢、最多勝、シドニーオリンピック、開幕からの9連勝、数々の偉業が映し出された。ケガ、その後の復活への道のりは、観客の涙を誘った。

その後、花束贈呈。黒木氏二人の娘さんから花束が手渡されると、スタジアムは拍手に包まれた。

東京都江東区より来場したkossyさんは、「黒木は魂のある投手、黒木の引退に複雑な心境だ」と、目に涙を浮かべながら思った。

引退試合で3人と本気の勝負

セレモニーでは、引退試合として、3人の打者と対戦す

るとの時間が設けられた。マウンドに黒木が立つ。

野手が出てきて、守備位置に着く。外野には早川、竹原、大松。内野は、オーティス、堀内、今江、西岡。捕手は、黒木と同期入団の橋本だ。

選手の一人目はサブロー。サブローはストリートに振り遅れてカットするのが精一杯のように見え、粘りながらも最後は空振り三振に倒れた。

二人目は楽天から磯部。楽天とのコールも掛かり、本気に打ちに行った模様だが、サードゴロに終わった。三人目は福浦。ストライクが入らない痛々しい投球だったが、見ていて気持ち良いくらいに空振りに倒れた。

黒木の熱き魂はマリンに戻る!?

最後に黒木からの挨拶があった。関係者への感謝を述べ、ファンへの感謝を述べ、そしていつかまたマリンスタージアムに戻ってくると言い、マウンドを降りた。

発行：K-blo新聞社 第0号(通巻2号)第1刷 不定期刊0円



最後のマウンドに立つ黒木

編集部から

黒木が引退した。あのときケガをしていなければ、もっと早くメスを入れていれば、野球にも人生にも「if」は無いけれど、思わずにはいられない。肩を壊した内に黒木が手術を勧めたとのニュースにすら、ひとつの人生を想い、泣いてくる。

**Today's KO-1さん**

2 打数1安打

ジョニー引退セレモニーの前座のような形でロケット対楽天のオープン戦も行われた。強風でぐだぐだの展開の中、4対1で楽天が勝利。俺達の幸一は永井からセンター前へのクリーンヒットを放った。